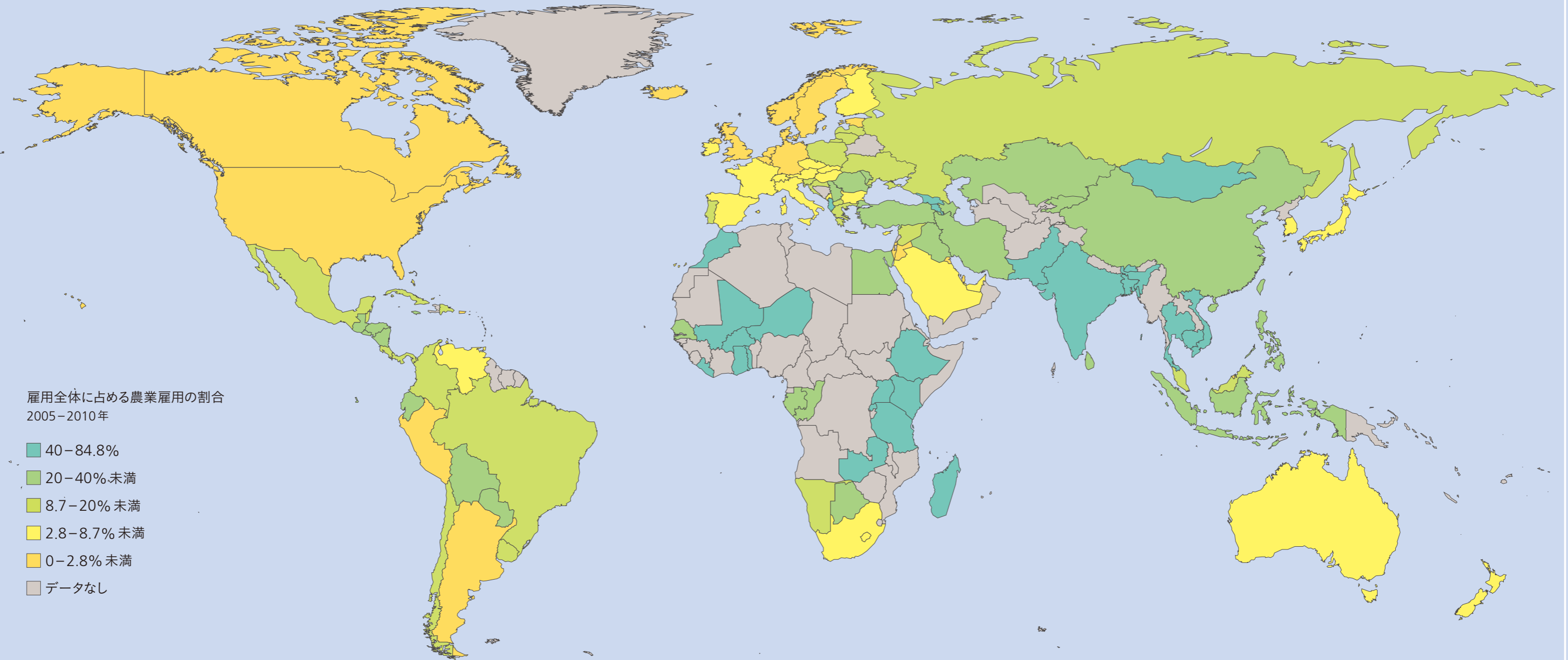


雇用全体に占める農業雇用の割合 2005-2010年



Employment in Agriculture, Share of Total Employment



2014年は国連の定めた「国際家族農業年」です。開発途上国では労働者の多くが、自営または無賃金の家族労働に従事しています。適切な雇用状況や社会保護は食料安全保障の確保と農村の貧困削減に不可欠ですが、農村部では10人のうち8人が、1日1.25US

ドル以下で生活する低所得者層であるのが現状です。また、基本的な社会保護にアクセスしている農業者は20%を下回っています。こうした状況は、農業者の労働生産性に悪影響を及ぼしています。

FAOは他の国際機関とともに、世界

の農業を支える家族農業の役割と重要性を訴え、社会保護を含めた農業・農村への一層の支援を呼びかけています。

関連ウェブサイト
International Year of Family Farming 2014 : www.fao.org/family-farming-2014

データ出典 : World Development Indicator
地図出典 : 「FAO Statistical Yearbook 2013」 FAO, 2013

